



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

12/17

ぼくは今回の原爆先生の特別授業で原爆のおそろじや生きている実感というのを知ることができました。なぜなら、ぼくが生きている間に戦争がなかったのが原爆のおそろじやあまり矢口ずいいたからです。

しかし、今回の特別授業をとおして、原爆ドーム画像で見えてこれという印象がありました。さらにきょうふが増えおそろじやを知りました。だから、これからずっと戦争はなしで平和な世の中になてほしいと心の底から強く思いました。生きている実感としては前半の話にあったとおりの人間の姿ではない、生きているかどうかのわからないなどといった表し方が改めて感じるようになりました。戦争なしで原爆や兵器もなし、そのよな世の中に生きているとを本当にうれしく思う、そのよな世の中に生きていなかった人達にはもうしわけないという気持ちがいっぱいになりました。だから、自分もしっかり生きていこうと思います。特別授業を受講してください。池田さん本当にありがとうございました。6年 1組 (井上元哉)

た。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこ

ウラン
12/6

今日はお急しい中原のおそろしきについで教えて
いただき、まことにありがとうございました。
自分は、戦時機などは、かよかたなので、興味があ
りました。しかし、今回原爆についで、たくさん教
えていただいたので、原爆についでこれからどうすれば良
いかなるかができました。

自分は、話を聞いて、原爆のおそろしきをとて
良く分かりました。体中の体のひふが、どうじ
ろにとけ、ほろほろにな、とてもいいたしり大勢
の人の気持ちにな、たう、はきけがするくらいと
ていいたかたと老人ます。

たう、1秒もしたりで、大勢の人(2万人)
が、ころされ、原爆のくつじよくをあげお
ながら死んでしまった人は、12万人もります
この原爆により、今までの思いや、心、存在が
全くなくな、てしまったのです。

このようにとてもこのリトルボーイ(70000の少年)は
おそろしりのに、その1000万もの、力のあま、
原子力爆弾は、1500発もあるのです。もしも
この爆弾が、いっせに、爆発してしま、たら、まるで
映画、ターミネーターのやうに、ほとんどの人が、滅ん
でしまります。そのため、最近、核兵器を禁止す
る条約ができました。しかし、日本は、国として、条約
にひびかんしなれたのです。それは、アメリカに、中、てもら
うためです。そもそも、兵器で、戦争をひもあこすことか
なく、どの国の人々も、ゆたかに、貿易すれば、アメリカに
中、てもらうためなどという理由は、できなれた
のです。

また、この世界には、原爆のことを教へてもらう人の
自分みたりな人が、たくさんいます。だから、原爆のおそろ
しきを、将来に伝へていくべきなのです。自分を、将来
作文や、ボランティアを履して、将来に、原爆のおそろしきを伝へ
ていきたいです。先生もこれから、たくさんの人に伝へて
い、てください。お体を気あつけて、ください。

6年1組(角谷旭飛)

成層けん





原火爆先生へ

広島原爆のことは、我々に話すたびに心が痛むと思います。それを承知の上で、我々にお話ししていただき、真にありがとうございました。

ぼくは、1つのリトルボーイ、1kgのウランによって、約14万人もの人々の命が、数秒、数分、数日によってうばわれてしまったことは、聞いただけでも辛く感じました。池田義三さんの言っていた「きれいすぎる」は、とても印象に残っています。それ違、た人々がどれだけひどい姿をしていたのが、それを想像するだけで、心ガズキズキと痛くなります。

原爆の授業が面白い、それはふざけたような面白さではなく、伝えられたときに、興味を持って言っ、それを伝えていくことを指している、そう感じました。

負の世界遺産、原爆ドームは、いつまでも残っていてほしいです。6年 1組 (加藤珠宇)



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

12/6

ぼくは、この原爆先生の特別授業を受けて感じたことは、広島に原爆が落とされて人々は、大やけどをしてくるし、それでも助けることもむがしく手をつかなくても皮がとれて助けるときが、必ずに人々は、死んでいってしまい、数日経てば、死体を運んでは焼やしてをくり返して、時には、おうとをして、苦しんでいた日々が続いていました。原爆がくる前は、広島県産業奨励食官の名前が、原爆ドームに変わってしまいました。原爆がなければ、原爆ドームなんてなく、産業奨励食官のままです。たまたま被害を受けずに平素口が保たれたままかも知れませんでした。ビデオを見て原爆がくる前は、たくさん笑顔があつたのに、原爆が落とされて、人々の笑顔が消えていって、最後の池田さんの涙がすこぶりにきました。今日は特別授業をしていただきありがとうございました。

6年1組 (神山輝生 とまは)



原爆先生の特別授業を受講して

じゅうこう

12/7

今日は、原爆のおそろしさを教えて
くださり、まことにありがとうございました。
僕は、今回授業を受けて、原爆は、
体験してないと、本当のおそろしさを
感じられないくらい危険なものと思
いました。それは、5分間のビデオで池田
義三さんが泣いたのを見て思いました。
思い出してしまっただけで泣いてしまっただけ
思い、思い出すだけで泣いてしまうほど
怖くおそろしいと感じると、思ったか
らです。そのほかにも、原爆の記録館
へ行って、被爆者のレプリカを見て「キレ
イすぎる」と言ったところも、体験して
ないとわからないところと思いました。な
ので、自分は体験したことないけど、原
爆のことを調べ、このことについて考え、
今回の授業をこれからにつなげていき、
おそれないようにしていきます。

6年1組(小石澤 仁)



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

12/17

原爆先生へ

今回の特別授業を受けては、ぼくは、原爆とは、ものすごい危険な物だと改めて知りました。

先生が急に静かになって急に大声で「ドカン」と言ったのでびっくりしました。でも、それ以上に原爆が爆発したら大きい音が出るという事が話を聞いていて、伝わってきました。

非常に生々しい話でしたが戦争というものがぼくにとっては十分すぎると言っていいほど分かりました。心に残ったのは爆発した時に人が目の前から消えたという事です。今回の話を聞いてぼくは「きれすぎる」と言った所はやはり再現出来ないほどの事を体験してきたと思うので大変な気持ちだと思っています。ぼくは、今回の授業でこれからは、戦争がもしもあつた時のために水などの物を準備しようと思いました。今回は戦争の事を伝えるために来てくださってありがとうございました。

6年 1組 (桜井 匠)



今回は、わざわざ関町小学木交に来て原爆の授業をしていただき大変ありがとうございました。

原爆による、衝撃波と熱線が数多くの人々が亡くなったと知りました。またきのこ雲のメカニズムも知りました。今後この地球でこの雲が出来ないことを望みたいです。そして、放射線が爆して亡くなっていく人たちが減っていき、いなくなるとほしいです。

もし、あの原爆のウラン全部が爆発していたら、今の広島は、ながたように思えます。

ぼくは、この地球上にある核兵器がすべてなくなった時、この地球は、広島長崎のような、残りにんなことにならず平和が来ると思っています。ぼくも地球がそなるように、大人にならうと思っています。

6年1組(柴田 結人)



原爆先生の特別授業を受講して^{じゅこう}

今回は、おれがし(1)中 関町小に
お越し(1)いただきありがとうございました。
ぼくは、原爆先生の授業を受けて感じた
ことは、命を大切にしようとして多くの人々を
助けた(1)と思う心の強さです。17さいという
成人に近づいて(1)ながらも関わらず、命を救うというすば
らしさや、ぼくたちには想像もできないようなきつ(1)
の中で戦(1)続けるのは、とてもすごいことだと思(1)
ました。今日授業で特におどろ(1)たのが、助け
を求め歩(1)いた人々の大形の写真をみて、
「きれいすぎる」という言葉です。あの人形ですら
おうとする人(1)がいるのに、あれよりも人間には見(1)えな
い姿(1)を見ても助けようとする(1)ことがとてもすごい(1)と
思(1)いました。どんなことがあっても命を大切に
することをぼくもわ(1)か(1)ない(1)で(1)した(1)です。
こんなすば(1)らしい話をぼ(1)く(1)たちのために
画像(1)を使(1)い(1)ながらわかりやすく説明(1)していただき
ありがとうございました。

6年1組(武井 祐次朗)



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

12/16

池田真徳さんへ

僕はこの原爆先生の特別授業を受講して一番驚いたことは人がコンクリートの階段の上に座っていると原子爆弾が落とされた瞬間、体が蒸発し灰または骨のみになってしまうことでした。義三さんは被爆者として5人に2人単純計算で死んでしまう中には入らず後世に伝えていける人になってその息子さんに継いで教えてもらいれています。僕は目の前で人ではない人が倒れていたり手を差し伸べたのに落ちていく弱々しいという話をうかがい人間は弱いなと思いました。がこのようなことを伝えていけるのは強いなと思います。話の途中に出てきた「7kg」ですがこれがウランの重さでこの大きさがゴルフボールほどだと聞いて驚きました。これだけで広島を破壊できてしまうんだなと思い怖いと思いました。さらに59kgも残っているということで原子爆弾は改めて危険だと感じこの前新聞で見た「広島は核兵器禁止条約採択を心から歓迎する」という意味をより深く知ることができました。

六年一組 (寺島慶一)



原爆先生の特別授業を受講して

ぼくは原爆先生の特別授業を受けて、すごく悲しい気持ちになったりしたけれど、当時のことはし、かり学ぶことができました。その中でもまず思ったことは、自分は今までいつもろつうに生活していたけれど、この授業を受けて自分がどれだけ良い生活をしているのかを矢張りすることができました。逆に言えば、当時の人はどれだけ大変な思いをしていたのか分かりました。もう一つ思ったことがありました。それは原爆にまきこまれた人たちが兵隊の人たちに「助すけ」と言って来たことです。ぼくはその人たちがその時にどんな思いだったのかを考えてみると、すごく悲しい気持ちになりました。またぼくは平和の大切さを考えていこうと思いました。最後に原爆のことをこれからもたくさんの人に伝えていってくださいます。そしてぼくは原爆とホホあったことを少しでも伝えていきたいと思います。

6年1組 (飛田 煌太)



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

12/7

今日は、貴重なお時いただきさまことにありがとうございました。ぼくはこの授業を受け自分の想像をはるかにこえる激しさ、苦しさを知らず知りました。とくにある人の心救済をした時にその人がさげんでむかし苦しむところでは、自分が息も出来ない位苦しみます。また、爆心地に近くほど人々の傷、焼けどかひびくが、熱線によってとけたひびが「ポタポタ」と落ちていくところも原爆の激しさ、苦しさが伝わってきました。

実はぼくの誕生日が8月6日で広島に原爆が落ちた日として身にし、自分なりに調べ少しは分かっているつもりでしたが今回話を聞き自分の調べはまだ出来てなくとだけひびからたのかというのを思うとすごく悲しかったです。このことから原爆の果てしない激しさ、苦しさを感ぜました。今年の夏、8月8日に広島資料館にいきました。館内には、中学生3人の残した遺品、兄弟が遊んでいた時に火売け残った三輪車を併せていたらすごく苦しく見ているだけでも涙が出ました。ぼくはこの事は二度と起こらないように外国との関わり方に気を付けてほしいと思いました。

6年1組(富谷 龍馬)



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

12/17

池田真徳様へ

ぼくは、原爆先生の授業を受け、心にとても
重いものがのしかつたおな気がしました。

お話の中で、特に心に刺さったのは「きつてい
ざる」という言葉です。今になって、こんなことか
た

といふも、実体験をした人はきっと忘れられせん

も、原爆を実体験した人たちは減ってしま
が、現実、本当の事を、残していくべきだと思は
れ

れ。「原爆は、絶対に使ってはならない。」の

ことを体験はしてないけれど、原爆の正しい

ことを、きれいではなくとも、また次の世代へ伝え

ていくことが大事だと思います。

ぼくは、戦争、原爆、空襲が怖くて目を背
けていました。

しかし、どんなに怖くて、戦争、空襲、原爆に
ついて、目を背けずに、きちんと見て、学んで、

原爆、空襲、戦争について、考えて、また次の世
代につなげていきます。

6年1組(中尾匠海)



原爆先生の特別授業を受講して

じゅうごう

12/16

原爆について教えてくださり
ありがとうございました。

～思った事～

原爆によって人々が亡くなったり、苦む事を
語られていましたが人だけではなく
犬や猫も被爆していたと思います。

人が作った物で人だけではなく

たくさん生物の命をうばって

しま。そのような事は二度としては、

いけない事だと思います。

また、そんな事を起こさないために

国一つ一つが原爆を、持たない、

作らないをしてほしいです。平和に

すすすためにもです。

とゆう事を思いました。

原爆を二度と起こさないために

伝え続けたいです。

6年1組(新本和馬)



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

12/17

今回、すばらしい授業を受けさせていただきこの言葉
を使っていいか分からないけどありがとうございます。
亡くなられたお父様と被爆者の方々にこのめいびく
申しあげます。

授業の中で面白いと言う言葉について考え
させていただきました。面白いと言う感情とはまた
違うのですが「人間のなれはおそろしい」という言葉
に興味を持ちました。生き物はかんきょうに適
合するという力を持っていますか逆に心が痛は
ない事になやむという面で言う人間は持っている
複雑な感情はつかいなものだと思いました。

ですが、人は感情を持っているからこぞむごたらしい戦
争をくり返そうとはしないのだと思います。

日本が戦火にのまれる日がこいよう国民だけでなく
世界中で戦争をおこさぬよう日々伝えていく
事が大事だと思いました。

悲劇がくり返さぬ事を日々願います。

6年1組 (沼田圭悟)



12/17

池田貞徳さんへ

原ばくの話聞いてほくが真先に覚えたのは原ばくのおそろしさです。助けようとしたら皮ふがはがれ落ちたり川が一瞬でぶいって大勢の人々が亡くなったという話を聞いて手も心も力がぬけました。このような話を聞いても現実とは思えない、いや現実とは思いたくないと強く感じました。そして、ふだんの日常がこの一瞬、この一発であと形もなく消え去ってしまうことに被ばく者の心の悲しみと辛さも感じました。

この土地ごくの悲しみを伝えていけば、二度とこのようなありさまになることは無いはずですが、広島に落とされた原ばくより強い原ばくが、15000発もつくられていることにくやしさを感ずいます。

今度はほくたちが伝えていき、原ばくを二度と使わせないように教えていきたいです。

6年1組(三浦 幹弘)



原爆先生の特別授業を受講して

広島¹の原爆²について授業をしてくださりありがとうございます。ぼくは原爆³についてのお話中「一瞬にして消えた」この言葉にびっくりしました。人が灰になって消えることなど考えたことがありませんでした。鉄がとける温度が1000℃なのに7000℃のファイヤーボールがこの地球に落ちてくるというのは、人が灰になるの体あたり前になってしまうのかなと思いました。そして原爆により原爆症⁴といふのになってしまうといふのは、人の気持ちなどをすべて変えてしまうといふので、原爆を落とすことは一生しては、いけな⁵いことだ⁶と思いました。池田義三⁷さんが17才で軍隊に入り人々を助ける活動をしてから何十年後に行きた広島で複雑な感情がわいてきたというお話が心に残っています。年々残るという言葉は、そんなじま⁸まかせしいものではないの⁹しい¹⁰い¹¹い¹²表者¹³せ¹⁴な¹⁵い¹⁶ひ¹⁷い¹⁸い¹⁹もの²⁰だった²¹という意味だ²²と思いました。

6年 / 組 (山下 和之)



原爆先生の特別授業を受講して

このたびは特別授業を開いていただきまことに
ありがとうございます。私が一番ショックを受けた
のは、原爆がおちた直後のお話で、いかにして景色
が変わってしまい人が灰になつてしまうという言葉に大変
ショックを受け言葉が出なくなりました。また、熱風
のため人を苦しめ、最後の最後まで全てをうばってゆく
原爆は人が創り出した悪魔そのものかと思ひます
原爆は人を殺し、消してゆくという一番残酷でむご
たらしい物であり、人が人としてとくする権利すらうば
うものでもあります。目を背けたくなる様な現実であり、
人がこの世に産み出すべきではなかつたと思つたもので
した。本当にその場面にそうぐうしてしか分からない
人が苦しむ姿や建物、被爆夫人などリアル
な情景を思ひながら、思ひます涙が出ました。また、
ビデオで人が灰になりサッと消えてゆく場面も心に
焼きつきました。絶対にあつてはいけないものの戦
争が核を無にしていくためには、ひとりひとりが意識し
語りついでいくことが必要だと思ひ、私もそれを信じて
いかなくてははけ6年1組(石川あい)

ないと思ひました。



じゅこう

原爆先生の特別授業を受講して

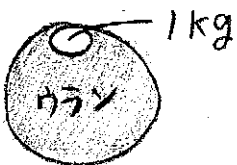
池田 眞徳 先生へ

原爆の事を教えて下さりありがとうございました。10000人の少年
一部だけ写真でも、ひからた事が伝わりました。義三さんの苦勞も伝わります。
けがを負った人がトラックに乗るとおぼやか想像をよみかたがたてて、怖
て、目がさめかたがたしてました。

ビデオを見た時会社が開くのをすわって持っていた人が、一瞬間で黒いお
なのおぼやかり、消えていたのを見て、びっくりしました。あんない。しゃんとす
わっていた後だけ残して、かげも形もなくなってしまう事おぼやかりま
した。

義三さんが映っていたビデオは、つづからた事がよく伝わりま
す。義三さんの映っているビデオを見たおぼやかりた時、泣いていた
所を見ると、どうもかたがた所を見たのかおぼやかります。原爆の話をして
くたがた。眞徳先生、ビデオからでしたか、つづからた事を泣きながらも教えてく
た。た義三さん、本当にありがとうございました。自分はこの先、まだなに
があるかおぼやかりません。なので、自分の命を大切に生きていきたいです。

6年 1組 (伊藤 妃萌)





原爆先生の特別授業を受講して

12/7

池田眞徳さん 今日はお忙しい中関町小学校で授業をしてくださいました。ありがとうございます。私が感じたことは、原爆。そして戦争はむごいものであり、二度とくり返してはいけないことだということでした。

原爆を落としたときの再現ビデオで見た、座っていた人が消え去る姿が心に残りました。一瞬にして炭となつてうはわれた命は、とてもはかないものでした。授業を受けたことでそのようなはかなく、取りとめられたはずの命の大切さに気づき、このように命をうばうことは絶対してはならないものだと感じました。

この授業で、原爆についてある意味での「関心」を持ったと思います。それは、原爆による過ちを知り語り継ぎたいという関心です。だから、これからもできるだけ「生の声」を聞いていて、戦争や原爆のむごさを知りたいです。

6年1組(伊藤 美咲)



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

12/16

私は今回の原爆のことについての特別授業を受講して悲しい感情や切ない感情などいろいろな感情をいただいてしまいました。

私は小学4年生のときに広島に行き、原爆ドームやその時のことをさいげんした像などをみてとても苦しく悲しい気持ちになりました。けれど、この時のことを本当に体験をした池田義三さんの「きれいすぎる。」という言葉聞き本当はどんな感じなのかと、とてもこわい気持ちになりました。

今回のこの授業は私にとってとても面白い授業になりました。本当に体験した方にしか分からないことをしっかり学ぶことができました。

ありがとうございました。

6年 1組 (今村巴南)



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

12/17

今回は私たちに特別授業のために関
町小学校に来てくださり、本当にありが
とうございました。私は池田さんのお
話を聞き終ったときなんとも言えな
い気持ちになりました。ですが本当に
このお話を聞いてよかったです。
だれでもそうとは思いますが戦争や
原爆のお話がきらいでと中聞きたく
ないと思うところが私にはありました。ですがきち
んと聞き、このお話は伝えていかなければならな
いと思いました。私が一番印象に残った
のは階段にすわっていた人の形が残ったとい
うことです。その人はいっしょで消えてなくな
ってしまっていたので本当に原爆がひどい
ことが分かりました。池田さんのお父さんの経
験は伝えていかなければならないと思
います。これからまた皆さんの人々に伝えてい
てください。本当にありがとうございました。この
経験は忘れません。6年 / 組 (内野 愛菜)



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこ

12/6

原爆先生（池田貴徳先生へ）

正直に申しあげると、言葉が出ませんでした。私のひいおじいちゃんが戦争に行き、鉄砲の球を足にうけ、かん通していたそうです。戦争がなければ「死者も少なくてすむはずだ」たのい...と思うと胸が急にしめつけられ、思いになります。お面白いというのは知れて良かったという意味だと思いました。「きれいすぎる」という言葉は現場はもと荒れ荒れで、恐怖一色にまっていたのだと思いました。被爆者のかたからすると、もう二度とすまじい光と、焼けとけた皮膚の絵など見たくないと思います。今私たちにできることは人々の犯した、とりかえしのつかない過ちをどう伝えていくのか。それが大切だ”と思いました。

90分間貴重な体験をさせていただけありがとうございます。興味かわきました。

6年1組（大橋愛香）



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

池田真徳先生へ

12/17

私は、池田先生の授業(話)を聞いて本当に原爆時代に生まれなくてよかったです。

そして、言葉を聞いているうちに涙をこらえようと、

なりました。恐怖でいっぱいにもなりました。原

爆のおそろしさを私は分かっていたつもりでした。

でもそんなに苦くおそろしいものが、今回分かりました。

しかし、それでもまたたくさん分かっていない事もある

と思います。お父様が体験された苦しみを、ど

と心の甲に流し込まれ押し寄せてきて、また心の

整理ができません。私が聞いたのでは、伝わ

らないものもあると思うと、胸がしめつけられる

くらい苦しくなれます。そして人を助ける

ことにおいての使命感だけでは、人を救う

ことはできないということにも気が付かされ

ました。原爆のことについて90分間お話しして下

さり本当にありがとうございました。この貴重な体

験をもとにこれから人に優しくより

えるような人間になりたいと思います。

6年 1組 (岡本らえり)



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

12/17

私が実際に体験されたお話を聞いて、
私が思っていたよりもすごく悲しくて、大変で、
日本人として、知っておかなければならないことだ
と思いました。何万人も亡くなっている中、生きて
いた人は、奇せきだと思います。その体験
はすぐには人に言えることではないと思います。
でも、こうしてこの原爆のことを次の世代へと
伝えていくことで気持ちが一歩になたりする
のだと思いました。それに、本当に被爆者を見
た人は私たちが思っている以上に苦しい
体験をしたと思います。人がいっしょで消えてしまう
という、ありえないことも、原爆の中ではあるとい
うことを知り、おどろきをかせませんでした。今回は、
戦争、原爆のおそろしさを新ためて、教え
てもらい、私はふたんから心において、自分の
できる精いっぱい生活を送っていきたく
と思いました。とても貴重なお話を、本当
にありがとうございました。

6年 1組 (小野紗佳)



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

12/17

原爆先生へ

今回のために、原爆の授業をしていただきありがとうございます。

原爆の授業で、その当時の想像をはるかにこえるきょう怖を感じました。

一番バに残ったのは、「きれいすぎる」という資料館の人形を見ておっしゃった言葉です。私はあの人形の写真を見て、とてもゾッとしました。

しかし、それでも「きれいすぎる」という言葉で、私が写真で見たよりも、ひどいありさまだったことが想像できました。そして、またきょう怖を感じました。すべての説明を聞いていて、想像しておきました。自分のバには、悲しみと、きょう怖がこみ上がってきます。

この授業を、日々、胸に刻み過ぎていくと思います。今回は、本当にお急がしい中ありがとうございます。

6年 1組 (川田 梨花)



原爆先生の特別授業を受講して

原爆のおそろしさや、戦争のきょうふを
学び、今私が生きているこの世の中が
どれだけ幸せがよく分かりました。

映像で見たことやうかがったことが自分が
今まで思っていた以上に悲さんで言葉で
は表せないほどでした。

池田義三さんが今の広島のような資料館を
ご覧になっているときにおっしゃった
「きれいすぎる」という言葉が心に残り
ました。この言葉から、当時義三さんが
見たものはどれだけおそろしいものだった
のが私は頭の中で想像しました。

きっと私の想像以上のものだったと
思います。日本は世界で唯一の被爆国なので
今うかがったことを世界に伝え、二度と同じ過ち
をくり返さないようにしなさいといけな
いと思いました。また、これから先も戦争のおそろ
しさを忘れないようにしなければいけないと思
いました。 6年1組(小崎春果)



原爆先生の特別授業を受講して^{じゅこう}

12/17

本日は、大変おもしろい中、本校においでいただき、ありがとうございました。

池田さんのお話は、とても興味深く感じました。私は初めて原爆について深く知ることができました。まだまだ知らないことがたくさんあると思いますが、「原爆のおそろしさ」は、本日の授業で実感しました。たくさんの方が亡くなったり、そのせうなりかたを見るとなんと言ひ表せばいいのかが、分からなくなるほど悲惨なものでした。しかしそんな悲惨な中でも生きようとした方々や、懸命に働いた兵隊のみなさんは、素晴らしいと感じました。

池田さんは、自分のことを「池田 義三」として紹介してください、たのび、とても分かりやすく、そして気持ちまでも表してください、たのび、とても勉強になりました。

池田 義三さんの「きれいすぎる...」の一言、とても心に残りました。この一言をこれからの人生で深く考えていこうと思います。

本日のことは、一生忘れないうちにします。

6年 1組 (後藤 菜緒)



原爆先生の特^{じゅこ}別授業を受講して

12/7

私は今回の授業でたくさんの方が亡くなりました。まず、池田義三さんたちが助かったのはいくつかのきせきが重なったからかというのを感じました。「はたが真っ赤で全身がやけど」とこの言葉を聞いたときは想想ができませんでした。私か思っていた以上になんかいいことだかけでした。池田義三さんたちがどんなにかんじたのか人々がどんなに苦しんだのか心の底から感じました。人々が苦しむ人形を見たときはくるしさか伝わってきました。でも「きれいなすき」という言葉を聞いたときは、どんなに苦しいか考えても考えきれませんでした。人々を助けてくれた人たちに感謝の気持ちでいっぱいになりました。始めは何でおもしろいんだろうかと思っていましたが、もっと深く知りたいと思う気持ちがおもしろいにつながるのかなと思いました。今回学んだことは忘れずかにりたります。原爆のことを教えてくださり本当にありがとうございました。

6年1組(土田夏鈴)



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

12/7

三田田まさのりさんへ

つらい単戔争のことを教 ねていただき
きありがとうございました

ぼくはこのお話をしていたのでとて
も悲しい気持ちになりました

広島に投下されたリトルボーイで広島
の人々のほとんどの人がなくなつたことを
聞いたのでとても悲しい気持ちになり
ました。

人は生まれてきて豊かに暮らしてきたのに
人間の勝手な行動によりなくなつてしま
いととてもかわいそうに思いました。

ほかにも熱系線、種子げき波、方々身線
で建物を次々にこたごたにされた人々
はくやしい気持ちでいっぱいだと思
いました。

特別授業を受けぼくはまた単戔争に
ならないように自分ではやっていると
思いました。6年 1組 (五十嵐 宥河)



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

12/19

ぼくは原爆先生の特別授業を
うけて思ったことは、二つありました。
一つ目は「リトルホーイ」のことです。
それは、あるまんかて「リトルホーイが
パラシュートを使っておちてきたという
ようになっているけど、まちがいで、パラ
シュートでおちてきたものはほかのも
のということにはあるまんかの人も
おどろいたと思いました。

二つ目は、原爆先生の特別授業
をうけられてよかったと思ったことです。
それは、原しぼくだんのことや死んで
しまいうだった人たちのことな
どを **あ**たまで考えるとぞくぞくし
ました。

このような特別授業をうけさせてい
たたいいて **あ**りがとうございました。

6年2組(**山** **喜** **人**)



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこ

12/6

原火暴先生へ

ありがとうございます。

今回は、原火暴のこゝを教えてください
ありがとうございます。

うちのおはあちゃんも、原火暴を実際
に体験しているのですが、昔少しですが、教えて
もらったことがあつたのですが、今回は、さらに
くわしく教えてください感謝しています。

当時おはあちゃんは小さいので、
そうとうおわががしてました。

今回、最初「原爆先生の特別授業」で
何だろう?と思いました。でも実際に
見てみて、こわいなあと思いました。

でも教えてくださいまして、特
別な気分になりました。

ありがとうございます。

6年2組(藤田陽輝)



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

12/6

ほくが原爆先生の授業を受けて思った事は、2つあります。
1つ目は、原爆が落とされた時の熱が7000℃もあったという事です。なぜなら、太陽の表面の温度が6000℃と普通に熱いのにその1000℃も高い7000℃が真土から落ちて来たなんて話を聞いただけおどろいたからです。それに、600mはなれていても3000℃もなるし、中心温度が3000℃なんて考えた事もなかったからです。

2つ目は、実際に池田 義三さんの話を聞いてとにかくひさした物だったのかというのを感じたという事です。なぜなら、手をさしのべたら皮ふ、外はかかれ落ちたなど本当にあった事を話してください、だからです。それに、池田真徳さんが言ってくれたように、水の中に逃げようと思っても、爆発のありの熱さにぶっつれて何人も人がいなくなったというのでどのくらい熱かったのか分かるわけです。

最後にほくは、原爆先生の話を聞いて友達に「死ぬやがえる」などの人権にかかわる悪口を言わないようにしたいです。その上、人を大切に出来るおな人になりたいです。

6年2組(初岡直哉)



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

12 / 6

ほくが原火暴先生の授業を聞いて
広島に原火暴が治とされてたくさんの方が
助けを求めている人などを兵士さんが
助けようとしたけど手や足などの皮
が剥がれ落ちていく様子を見てとても
よくてたくさんの方が兵士さんに助けを
もとめていたけど助けられなくて
たくさんの方が死んでしまったというこ
とが分かりました。もうこういうこと
が起らないといいと思いました。
ありがとうございました。

6年2組(大土塚 翼)



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

12/16

私は、原爆先生の授業を受けて、思ったことや、感じたことがあります。

それは、たったゴルフボールくらいの小ささの爆弾が、二十四万人もの人を被爆し、十四万人もの人の命をうばったことです。実際に兵隊になり、現場にも立ち向かった時の様子は、動画や写真でもよくわかります。でも、先生が言っていた「暑さ、こわさ、人の体がこわれていく感しょくなどは、ほとんどわからないし、想像もできません。

今回、実際に立ち向かった人の話しを聞いて、改めて、原子爆弾にきけんだと思ったし、こわいとも思いました。

いつか、原爆ドームを見に行って、今日勉強したことを生かして、もっとくわしく調べてみたいです。

本当にありがとうございました。

6年2組(高橋美結)



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

12/16

以前は6年生に原爆の事を詳しく教え
ていただいていたありがとうございました。

池田義三さんの日記に書いてある文章を頭
の中で想像するとしてもおそろしくふるえが止ら
なくなりました。

でも実際に体験した被爆者やそれを見てい
た義三さんは何十倍もつらかったと思いま
す。

その真実を矢口する事が出来てしてもつらく
もあり、そして今平和に暮らす事ができる今
の暮らしがどれだけのあおせかを感じ
ました。

そして今でも原爆が理由で苦しんでいる人
がいる事を聞いてしても心が重くなりました。

詳しく矢口しなかつた原爆の事や体験談
のような事を教えてくださってありがた
ございました。

6年2組(釣谷歩風)



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

12/16

ほくは今回原爆先生の特別授業を受けて「戦争は悲しいことだ」と改めて強く感じました。なぜなら、太平洋戦争では原爆や戦死などの原因でたくさんの人々の命が失われていったからです。その中の原爆について今回学んでおどろいたところがあります。それは、「原爆の威力」についてです。今回原子爆弾には熱線と衝撃波と放射線の三つの危険があるとわかりました。まず熱線は原爆が爆発したときに出る熱のことで熱さは 3000°C ~ 7000°C あることにおどろきました。また、その熱さで人が炭になってしまうことにぞっとしました。次に衝撃波は人を十メートル以上とばす力があり、先ほど言った、人がなった炭も打ちくだく恐ろしさを知りました。最後に放射線です。この原爆を奇跡的に逃れられた人でもその多くが放射線が原因の原爆症に苦しめられていたことを初めて知りました。今回授業を通して原爆の恐ろしさを知り、下上でこの出来事は一生忘れたいことが重要だと思える。それによって昔と変わらぬ今の平和な時代を保てたいです。今回は本当にありがとうございました。

6年2組(角田陽祐)



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

12/6

広島 の原爆について教えていた先生
ありがとうございました。原爆が落とされた
日までのこと当日の事そしてその後の事を
体験を混じらせて教えてくださいました。
ほくは原爆の様子も映像も混じらせてすまじ
い威力がとく分かりました。動画で原爆の
いて調べたことはありましたが、やはり実体験は
人から聞くことは全く違いました。そして
科学的にも説明してくれました。例えば、
爆発した時に一時真空になる、たゞその原爆に出
会った人がどれほど苦しんだかよく分かりました。
ほく自身も悲しくなり、兵隊だからこそ分か
る話。そして兵隊だからこそ分かった苦し
みをよく知りました。やはり原子爆弾等
どの兵器はあってはならない物だということを
よくわて、多くの体験を知りました。
今回はありがとうございました。

六年二組 (大野 悠)



原爆先生の特別授業を受講して

12/6

私が原爆先生の授業を受けて特に思ったことは、人が原爆を受けて亡くなるのはこわいということです。原爆が一回爆発すると、何万の人が亡くなるのは、当たり前かもしれませんが、とてもこわいと改めて思いました。証言で、「一しゅんで消えた。」という言葉を書き、何年も生きていた人が一しゅんで消えるのは、もったいないと思うか、とても言葉には表せないような悲しみだなと思いました。爆発するとき亡くなった人も、皮が剥がれ、肉や骨が見えているのを想像すると、ゾッとしました。また、その後亡くなったときと、その時私は生きていなかったけれど、助けなかったなと思いました。なので、何もできなかったことをきくと、私もくやくなりました。そして、今も放射線を受けて苦しんでいる人を、私が助けられないかと思っています。

原爆先生の話をきいて、原爆は知っているようで知らないことがたくさんありました。そして、原爆のこわさを改めて思い知りました。

ありがとうございました。

6年 2組 (平澤 実結)



原爆先生の特別授業を受講して^{じゅこう}

12/6

先日は関町小学校の視聴覚室で授業をしてくださり、ありがとうございます。ぼくは、原爆先生の特別授業を受講して思ったことがあります。

ぼくは、たまたまこの時代に生まれてきて良かたです。約100年前は戦争が激しく、爆弾があちこちに飛んでいたはずで、この世には、広島や長崎に投下された原子爆弾より威力が上回る原子爆弾が約1万5000個もあるという話を原爆先生から聞いて、この1万5000個もの原子爆弾を減らして行きたいと思いました。なぜなら、前に経験した原子爆弾投下の悲惨さをもう二度と繰り返さないためです。また、原子爆弾の恐ろしさや残酷さを後世に伝えていきたいです。

ぼくは、広島に起きた悲劇の真実について考え、少しでも原爆による苦しむ人々を減らしていければいいと思いました。

6年 2組 (栄優直)



原爆先生の特別授業を受講して

じゅうこう

12/16

先日は私達のために原爆について教えてくださり
ありがとうございました。話は全く息吹のあるもの
ばかりで、とてもためになれたと思います。

私は原爆についてテレビなどで見て簡単に
さんざんな現場がたまたまのことには感じあり深
考えたことはありませんでした。しかし今回、実際の
日記や手紙などを聞いて改めて現実の生々しさ
や原子爆弾のおそろしさを知り、さまざまなおも
いがみあげてきました。特に被爆者のさんざんな
様子には寒けを感じ日本だけではなくとこのどんなとこに
こんなむごいとはしてはならないとおもいました。また、
池田義三さんがた島原爆資料館に行かれた際に
被爆者を再現した人形を見てはなれた一言「きれいすぎる」と
いう言葉がとても印象に残っています。たまた一言でもとて
おしく悲しみがのっているように感じました。「きれいすぎる」と
は現実とは、とひどくむざんだ、たんだと思うとさうふ
しか生かれません。今回は本当にありがとうございました。
この授業を一生忘れません。

6年2組 (藤井 陽希)



原爆先生の特別授業を受講して

じゅごう

1/6

ぼくが原爆先生の授業を聞いて思ったことを考えたのはつあります。
1つ目はぼくは今まで三島島に行ったことがあつたが展示物を見るか
け、実際話を聞きたいと思ってました。その授業に話を聞けたこと感
じました。なぜなら展示物を見ただけでは自分ではどのような被害があつたか想像
するしかできず、けがをしたやうな、たのしみか想像ができませんでした。
しかし話を実際に見た池田さんのお父さんの話を池田さんから聞くことが
できて、ぼくの想像を大きく上回りました。助ける時にいかに大変であ
つたかが分りました。また男の子、女の子を助ける時、けがをした
大人をトラックに上げようとした時の必死さが伝わってきたからです。
2つ目は8時5分、原爆が投下されたこと運が悪いと考えました。なぜ
なら子どもは国民学校、大人は仕事に行く時間だから、多くの人が
外に出ていると考えたからです。
この話を聞いてぼくが今できることは話聞くことしかないと思ひました。
なぜならこの話を聞けたら戦争をする苦しい思いをするとかまた強
く思ふようになつた。このことがぼくが大人になつた時、まだ思ひて
いらつた。今度は話聞かなくて、この体験をせよなると思ひた。か
おいそがしい中特別授業をしていただき、本当にありが
うございました。

6年2組 (松尾健太郎)



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

12/6

私はこの原爆先生の授業を受けて、感じたことがあります。それは、原爆の話を知っていてとても胸がくらくらになりました。私は今まで原爆はただの戦争みたいなものだろうと思っていました。けれどこれはただの戦争みたいなものではなく、何もしていない人もまぎこんで14万人もの方が亡くなった。ただなんて自分の頭では全く考えられませんでした。その亡くなった人達はそく死ではなかった人はくるしみと悲しみでどのような気持ちで助けを求めたのかは私はわかりません。けれどももし私がその人達だったら、ひしひしと早くこのくるしみからかいほうしてもらいたいという気持ちで助けを求めたと思います。私は原爆のことをくわしく知って、これからの生活をもっと楽しんでこのように平和で幸せに暮らしている事を大切にしていきたいと思っています。

今回の原爆先生の授業はとても心に残りました。そして、本当にありがとうございました。

6年 2組 (高澤紗唯花)



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

12/6

私は、原爆先生の特別授業を受講して、思った
ことがあります。それは、原子爆弾が、
投下されたときの、それぞれの人の思い・心
です。投下されてから、兵士の人たちは、いろんな
人を助けるために自分の命は考えず、やってきました
と思います。でも他の人が21才の中で原爆先
先のお父さんは17才。私だったら、こわくてい
ろんな人を助けるということは、できないと思
います。しかし、原爆先生のお父さんは、死体
の片づけや、やけどをおった人を助けたりと
とても町のためにがんばってくれました。町の
人も、いつ、また落ちてこないかと怖がりな
からすごくしていくというのが、とてもつらいし、
一人だったらなおさらつらいと思いました。

私は、原爆先生からお話を聞いて、支さえ
あう、助けあうということは、とても大切だと思
いました。本当にこのようなお話しが
聞けて良かったです。ありがとうございました。

6年 2組 (夏山 りお)



原爆先生の特別授業を受講して^{じゅこう}

私は原爆先生の特別授業を受講して感じたことがあります。それは想像していた以上に悲さんで、もう二度と起こしてはいけないことなのだと思感したということです。私は今まで原爆ドームを見たことがあったけど、とても大変な出来事だったとしか、感じる事ができませんでした。しかし今回原ばく先生の授業を受けてからは原ばくというものをあまき見すぎたと思強く感じ、しょうげきを受けました。今の日本人・私たちが簡単にできることを積みあげていけば、もう70年前のようなことが起こらないと思ひます。そして私はその中の一人になりたいと思ひます。今回はとても大切なことを学ばせていただきありがとうございます。ごさいました。6年2組(佐光郁美)



原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

12 / 6

私たち 関町小の6年生のために、原爆の授業を
いに来てくださり、ありがとうございました。私が原
爆先生のお話の中で一番心に残ったことは、原
爆に使われていたウランのうち、実際に燃えた
ウランはたった1kgだったということです。私は
広島市民の40%の人が亡くなったのだから、もっと
大きなものだと思っていました。それだけの量でも
広島市民の半分近くの人が亡くなってしまおうほど
おそろしいものを私たち人間がつくったことに
とてもおどろきました。原爆先生の授業には、
原爆の説明だけでなく、原爆投下後の体験
談などもあって、戦争の悲惨さがとても現
实的に感じました。その悲惨を、未来の人に
強くうつたえて、ひとりひとりが平和の大切さ
について考えていくべきだと思います。これから
も、たくさんの人に原爆の話をしてください。

6年2組(金澤 栞)



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

12/16

僕は、原爆先生の授業を受けて、原爆の恐ろしさと、戦争の酷さを知った。

先生の教え方は、手に取って見ることからできるくらい分かりやすい。例えば「スー...スー...ドン」という、口だけで「現状」を表現したり、または、映像を見せたり、または、ふたつは決して使わないような言語調を使って、小学生に少しでも原爆のことを知ってもらいたいという気持ちたちが伝わってきた。

学校から帰って、広島に落とされた「リトルボーイ」について調べてみたところ、しば→爆発装置→火薬→ウラン→真空→ウランの順で原爆につめこまれていること、広島は輸送舟団集合地であり、アメリカ軍が閉じこめられていたのは広島のみだった。だからこうほに選ばれたことなど、僕がこんなにも原爆に興味をもったのは、原爆先生のおかげだ”と思う。

6年2組(山田 隆太)



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

12/16

原爆先生の特別授業を受講して、
いろいろなことが分かりました。
原爆のこわさが知れすぎてびっくりしま
しました。原爆は、とてもこわいし、お
そろしいので、その時代にいた人
は、とてもたいへんだったと思っ
ます。とくに、5人に2人が亡く
なってしまう、というのがとてもし
うげき的でした。人々が、とんとん
死んでいってしまい、とても分
なしいと、みんなが思っているし
思います。

原爆のこわさや、そこにいた人々の
思いがよく分かりました。

原爆の授業をしてくれて、
ありがとうございました。

6年2組(蓮尾和奏)



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

12 / 6

先日は、本当にありがとうございました。
た。

私は、先生の講演を聞き、被爆者の
様子に、とてもしゅう激を受けました。
先生のお話の中で、被爆者の様子があ
まりにも生々しく、少し、気分がわるく
な、てしまいました。しかし、それが約
70年前の日本でおきていたことなので
今の自分にできることを少しでも行、て
いきたいと思、いました。

また、リトルボーイの操縦士が原
爆をおとした後の広島を見ておどろい
た、と聞いたとき、アメリカ人の金買が自分
たちのおとろ、うとして、いる爆弾が1回
で24万、人もの命に、関、わることを理解
して、い、奪、いの、に、原爆をおとしたのも、ほ
ないか、と思、い、強、い、痛、し、み、を、感、じ、ま、し、た。今
ので、今回、の、経、験、を、未、来、に、つ、な、け、て、い、こ、う、思、い、ま、す。

6年2組(神崎 冴衣)



原爆先生の特別授業を受講して^{じゅこう}

ぼくは、原爆先生の話を聞いて
爆弾のにおいや爆弾でくたされた人の
①気持ちがおかたと思います
す。

ぼくは、広島で原爆がとれたらしいのものがよく分かっていまして。右に
原爆先生の話を聞いて原爆が
おきかたがみにしみてきました。
また、広島はもともと長崎とま
とされた原爆の時もして、日本中
のみんなが原爆のついでに原爆
の時のことなどお話を聞いてい
たと思います。

最後に、原爆がどうおきかた
などを教えてくれたおかげで
ありがとうございました。

6年2組(佐藤 大平)



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこ

1216

私にそのために時間をとっていただきありがとうございます。
原爆が投下されて何秒も経たないうちに多くの人の命はうば
られ笑顔も町もすべてうばわれ灰色の世界になっていくとい
うことを聞いてもし自分がはにかむとうしろたふらどうなるのか
と考えるとどうやらあらわれたいのだから分かんなくらい
で、最後に見て下った義三さんの動画でも当時の様子や当時の
鬼の目と今（はかり）えはいさか泣かにはいれおろさうな
くらいともしわかた下す。私は原爆の話を聞いて、自分友達
家族として今（はかり）に生きたう鬼の目。必死の日を生きるとは
かたはるから今（はかり）に生きた下す。そして次の世代の人と原爆を
知ってもらふこと大切だと思ひます。きりきり話を聞いて私
のように人や今（はかり）を大切に生きたう多くなると思ひます。そして
次の世代にいつたえおことよして原爆のことをわすれること
かなく、いつたえ歴史にのこること少しして平和な世界
につかかると思ひます。私は、これから今の自分下本
来るかきりのことをして、少しして平和にして、お人自の笑顔
につかかるとして、日本から笑顔をつかかるとはう
にします。私が笑顔でいて、周りの人を笑顔にしたい
です。
6年2組（朝倉奈京）



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

12/16

ほくは原爆先生の特別授業を受講して、
原子爆弾の本当のおそろしさを感じました。
原子爆弾の存在も、それがもたらす被害も自分
は知っているつもりでした。しかし、原爆先生の
授業を受け原子爆の本当のおそろしさは、周りの
ものがなくなることなどではなく、今まで生活していた
人間たちがなくなり、生き残った人も放射能を
あびて苦しみ続けること。さらに苦しんでいる人を
ただ見ているだけでなにもしてやることのできない人たちが、
まどかしさや、悔しさで苦しむこと。これが本当
におそろしいことではないかと感じました。そして、
こんなおそろしい原子爆弾の何倍もの威力
のある核爆弾は世界の色々な国が保有
しています。なので、世界で唯一、戦争で原
子爆弾が投下され、原子爆弾の本当のおそ
ろしさを知っている日本が、世界各国を先導して、
核爆弾のない、平和な世界になればいいと思っ
ました。貴重なお話をしていたら、ありがとうございました。

6年2組(甲川陽大)



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

私は、原爆先生の授業を受けて思、たことが
あります。それは、戦争のことです。前に新聞で「戦争は
人間、人間ではなくなる」という記事を見て、は？と
思、たけれど原爆先生の授業を受けて、その意味がや、とわかり
ました。ほかにも「戦争の経験者で、今でもあの嫌な悲鳴を
聞、き出す」とい、て「しては、んも、いたの？」、戦争は終、つて
も、被爆者の中、には戦争はまた終、つてないのかと
思、いました。

私、たちは、戦争は止め、るべきです。
できることとして、戦争の歴史をちゃんと受け入れて
次世代に受け継、いで行くことが大切だと思、いました。
池田義三さんは死、んでしま、つたけれど戦争をもう一度、
しないようにしてしま、たいです。

原爆先生が教、えてくれたことはとても人、として
大事、なことだと思、います。

6年2組(柿谷小春)



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

12/6

原爆先生の特別授業を受けて思ったことかニつあります。

一つ目は、戦争にかかわった人の思いが伝わってきたということです。それは、「こゝに死にたくない、まだ生きたい、などの言葉が心の中につきさしました。

二つ目は、悲しく、かわいそうで、きょうふだったということです。

私は何れも父から戦争の話をよく聞かされます。なので、たいたいの戦争のことはよく知っています。でも、原爆先生の話は、父の話より少しちがうところがありました。

話がちがうと知っていること知らないことなどが、どんどん頭の中に入ってきました。でもそこから、泣くほど心がくたくしく、悲しく、かわいそうな思いで話を聞いていました。

戦争の話をかかせてくれたばかりかどうございまして。

6年2組(伊藤 琴)



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

12/16

先日は、ぼくたちのために、忙しい中、
このような授業をしてくれて本当に
ありがとうございました。

ぼくは、この授業で心に残ったことは
二つあります。

一つ目は原子爆弾の恐ろしさです。原爆に
よって被爆した人達やけいなどである、
がはかれて(お)人が大勢いた、ということを知り
て原爆を落とされたアメリカを許さないと思いました。

二つ目は、被爆者を全力で助けようとする人
達の心の温かさです。どんな状況でも、
残っている負傷者を助けようとする人々の
努力に、とても感動しました。

このような授業を終えて、原爆の恐ろしさ
を次に伝えていき、ぼくたちにできることとして、新
たな人との関わりを深めて「平和」を築いていく
ことだと思いました。

6年2組(今泉 颯)



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

12/16

ぼくは原爆先生からいろいろな事をおそわ
てほんとうにべんきょうになりました。このべ
んきょうとして思ったことは二つあります。一つ目は
おなくなりになられた人々です。ゴルフボール
ぐらいの大きさの物が十四万人のうち二万人
は一瞬のうちに皮膚爆してはいのかたまり
になってしまった所を見たしんかんにはほとんどはな
みだが出そうになりました。二つ目は原子
爆弾のいりやくです。まず熱線は百万度で
すべての物をとがして人の体じゅうの水分が蒸
発し衝撃波はあたりの光をほうきゅうさせ音速より速い
と聞いた時とりはたが立ちました。あたりを灰色
の世界にしてしまうと聞いてびっくりしました。ほと
たちのために時間をとっていただきありがとうございます
ございました

6年 2組 (山口 凜希)



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

12

16

原爆先生の授業を終えて思ったことは
二つあります。一つ目は二度と原爆が落
とされぬようにするために身近にある
戦争につながらず減らすこと
が大事だということでもおぼ
うと。まず戦争がおこった原因は領
土をめぐる。たこしが多いた
ります。これは領土を仲良く分
けていたら戦争がおこりな
かっただけです。仲良くする
ことは領土だけでなく全てに
あてはまると思っています。こ
うするためにほくは身近にお
こるけんかなどか
のようにしたりとめたりして
仲の良
い関係に
していき
たいと思
います。27日
は原爆は忘
れたいけ
ないもの
だと思
うので、日
記に原
爆先生の
授業を終
る録を記
述します。
日記の
題名は
忘れぬ
ようにして
誓うま
たのこ
もあ
りか
たに
ざ
り
まし
た。6年2組(岡本流内)



原爆先生の特別授業を受講して

12/6

私が原爆先生の特別授業を受講して思ったことは、強い心が土台になっているということです。今の時代にあまり原爆を自分の目で見て、体感したという人はさらさらいないと思います。その事件こそが原爆の建せつをいやがる理由にも、日本がかく保有国へ咄かしていることに関係していると思います。日本は世界でゆいっつの原爆の被害を受けたところですが、しかしその原爆の歴史の言系田を教える理由が分かりませんでした。それは、そのむとさを伝えることは恐怖になってしまい逆効果になると思っていました。しかし、知っていることでそのつらさをよく止しようとする思いが働いていくのではないかとということが分かりました。

ありがとうございました。

6年 2組 (吉盛文芽)



原爆先生の特別授業を受講して

12/16

ぼくが12月6日の原爆先生の特別授業を受けて思ったことがあります。それは原子爆弾でまきこまれた人についてです。原子爆弾をおとされて地面に30000の熱がたつたおてくるから人間もこげるけど男の人か女の人かわからなくなるといのはびっくりしました。そして人を助けるときに皮がはがれてしまうのは少し気分わるくなるけどそのくらいすごい爆発たといことがわかりました。

他に、広島市の人数です。広島市の人口は35万人だったのに、たった1回の爆発で35万から約14万人の人が亡くなってしまったのもびっくりしました。今回はありがとうございました。

6年2組(藤原大弥)



原爆先生の特別授業を受講して

僕は原爆先生の授業で考えたことがあります。
それは、核をくい止めることです。教えてくださった、
広島・長崎に落ちた「原子爆弾」のおそろしさ、悲
惨さ。ウラニウムは60kgのうちの1kgしか
火然焼しなかつたといいます。また、その1000倍
の威力をもった原爆が、世界に一万5000発あ
るのです。考えただけでも寒気がします。
死亡率40%だった広島原爆が、数個落とされ
ただけでも、日本は破滅すると思います。今核の
開発をくい止め、世界を破滅にみちびかないため
にも、原爆先生のような方が、世界にこの悲惨さ
を伝えていくことで、世界から原爆がなくなると
思います。

自分も、今度の授業で学んだことを忘れずに、
原爆についても、もっと多くのことを学び、
伝えていくことが大切だと思いました。
ありがとうございました。

6年 2組 (神谷 道郎)



原爆先生の特別授業を受講して

原爆先生の特別授業を受講して思ったこと、考えたことが3つあります。

1つ目は、ウラソ1kg(ゴルフボールくらい)で広島がたいへんなことになったことがわかり、世界でぶきとしてつかたり、つくったりするのを、なくしたいと思いました。

そのために、みんなにこの怖さを覚えてもらってこのようなことが二度とないようにしたいと思っています。

2つ目は、このような活動はエネルギーを省けていき、必要な物(発電など)をのぞいて検査をなくすようにうたえていくことは、エネルギーとしても必要だと思いました。

3つ目は、昔の人たちはとてもたいへんなことがあったことがよくわかりました。エネルギーを省けるようなことがなくなければいいと思います。

6年2組(林紀里)



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

今日は、特別授業に来てくださり、ありがとうございます。私は、この授業の中で一番心に残った所はアメリカ軍から空襲が来て、死者数が14万人も出たということ。このことや動画など見て、戦争はなんでおきたのかと、とても悲しい気持ちになりました。特に、罪の無い人がお亡くなりになるなんて、どうして、アメリカはそんなことをするんだ、と思いました。まだおなかの中に赤ちゃんがいるかもしれないのに、長さ約3m、重さ約4tの爆弾「リトルボーイ」を広島などに落とすなんて、とてもひどいことだと思いました。この授業を受けて、もうこんな争いや人がお亡くなりになることなどは、もう絶対にやめてほしいな、と思います。原爆先生の特別授業を行ってくださって、本当にありがとうございます。私もこのことについて平和を大切にしていきたいと、思います。ありがとうございました。

6年 3組 (関 穂華)



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

12/6

私は先生の話を聞いて大きな恐怖と悲しを感じました。太陽よりも熱い、熱線や音よりも速い衝撃波、想像するだけでぞくぞくとしました。私は、やけどや台風くらいが一番熱く速く向かってくるものですが、その100倍くらいの苦しさを味わって死んでいった人がたくさんいることがとても悲しく、心が痛みます。同時に、この悲しい過去を作ったアメリカ軍がひどいと思いました。一つしかない大切な命をうばって、何が面白いのだろうとも思いました。また、たった1kgのウランで広島を破かいしたことに恐怖を感じました。世界がもっているウランで作れる1万5千個でどれだけの人の命がうばわれるか、想像することができません。私は、四年生のころに原爆ドームに行ったことがあります。原爆ドームを見ただけで、原爆のおそろしさが伝わってきました。資料館も行き、ひざがただれ、おぼろしく女性の模形を見ました。今思い出だけでも本心で痛む、悲しいものでした。でも、先生の「お父様が『きれいな体』とおっしゃった」ということを聞いて、おれだけならそう、痛そうなお体をしているのことに驚きました。それだけおそろしいのだ、ただのただなと感じました。変な言い方になるかもしれませんが、聞いてとても楽しかったです。忘れられてきている日本の悲しい過去を、次世代に伝えていかねばならないと思いました。同時に、これだけおそろしいことが起きたのに、生き残った人がいることがきせきだと思いました。戦争が起ったからよかったものの、あのまま続いていたら、世界はほろんでいたかもしれません。私は、改めて命が、いかに大切であるかを知りました。今回は本当にありがとうございました。

6年 3組 (古川 恵)



原爆先生の特別授業を受講して^{じゅこう}

この原爆先生の特別授業を受講して原爆の悲しさを実感することが出来ました。そして戦争について改めて考えることが出来ました。

実際に原爆先生のお父様が体験された話を聞いて今までに感じたことのないほどゾッとした話がありました。その中でも一番ゾッとしたのはトラックに乗っていた際に爆者に手を差し伸べられたがその爆者の皮ふや肉がズルッと落ちたという話です。それを想像するだけでもあまりの悲しさになみだがかこみあげてきました。

そして、今回のお話を聞いて平和であり生きていられることの大切さを感じ、今自分がそのような状況であることに感謝するべきだと思いました。また、北朝鮮の問題についても深く考えるべきだと感じました。

この度は関町小学校にお集りにいただき誠にありがとうございました。そしてつらい経験を乗り越え私達にこのようなお話を伝えていただきありがとうございました。

6年3組(青木桃香)



原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

ぼくたちのためにあざあざ足を運んでくださりありがとうございました。

ぼくは広島と長崎の原爆資料館に行った事があり、広島の原爆ドームは、約70年前の原子爆弾の恐ろしさをものがたてていました。そして、本日の原爆先生のお話を聞いて、原爆資料館とは、別の恐ろしさが伝わってきました。また、リトルボーイが広島に落とされるまでの事や、リトルボーイが人々に与えた被害などがくわしく分かりました。

ぼくは、この事から、たくさんの方がひとりでやけどをおたたり一瞬にして、消えてしまったりしたので、原子爆弾のすさまじい爆発の威力が分かりました。もう二度とこんな事起きてほってはいけなと思います。本日は、本当にありがとうございました。

6年3組 (須崎 輝心)



原爆先生の特別授業を受講して

ぼくは原爆先生の特別授業を受けて核爆弾がとてもおそろしいことが分かりました。ぼくは午前8時15分ごろに核が落とされて、爆しん地の近くにいる人は全員灰になってしまったということを知りて死んだとしてもせめて遺体だけでもあってほしいと思いました。爆発の後に熱風が来てた。半の人は皮がはがれて手をななめにして歩くというみじめなしくすがわい。そうたまりませんでした。そして、なによりウラニウムは島嶼がなくなるなりました。そうしたら、60kmはあつた50kmの日本は消すつてはたつたおそろしいことがわいてきてました。次はせつたいにあつては、ならないなと思いました。

6年3組(吉田音太)



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

12/6

原爆先生へ

関町小に来て、原爆当時の事についてお話ししてくださり、ありがとうございました。

私は戦争中、広島、長崎に原爆が落とされたことは知っていましたが、今回の特別授業で詳しく知れてとても勉強になりました。

原爆が落とされたのは今から約70年ほどしか前でなく、私たちの身近にあるんだなと改めて感じました。皮膚がとけてうでにたれさがっていたことなど、聞いているだけでおそろしさが伝わってきました。

今回の授業から原爆のおそろしさ、そして人が死ぬことのおそろしさが改めてよく感じました。今も技術が進化し、設備が整えられたり、建物が丈夫になつたりしていますが、それと同時にほかの戦争をしている国では武器の機能を高めたりしていると思います。

これからの何十年、何百年後の未来もずっと平和であってほしいと思います。

6年3組(田中 瑞稀)



原爆先生の特別授業を受講して

今回は原爆のことについて教えてくださり
ありがとうございました。
1945年の8月6日に広島に投下され同じ年
の8月9日に長崎に原子爆弾が投下
されたということは少し聞いたことがありました。
原子爆弾リトルボーイは約4セというこ
とを初めて知りました。原子爆弾の衝撃波
の速さは音速より速いということを知って
広島にいた人たちはすごい衝撃を受けたのだと
分かりました。もう日本とどこかの国で戦争
はしたくないです。この戦争では皮膚が
垂れている人もいたということを知って
1まぐは今平和な社会で生きていること
がとても幸せだと思いました。おと平和
な社会に感謝して、命を大切にしに生き
ていきたいです。今回はありがとうございました。

6年3組(成瀬 颯大)



原爆先生の特別授業を受講して^{じゅこう}

このたびは、原爆についての授業をしていただき、ありがとうございました。

私は、原爆についての知識が無かったので、勉強になったのと同時に、とても大きな衝撃を受けました。

全このエピソードの中で、特に印象に残っていることがあります。それは、被爆者たちをトラックに乗せようというのを引っぱりながら、皮ふがはがれ落ちたという話です。私は、ウランたった1kgで、約24万人もの人たちが想像を絶する痛みを感じていたと考えると、とても胸が痛みました。また、痛みをうたえている人々を見ていた兵士の方々や、家族、友人は、言葉に表せないほどに辛い思いをしていたのだと思います。

今、北朝鮮が核ミサイルをどこかの国へと落とそうとしています。もし、日本に落ちてきたら、広島や長崎に落とされたときよりも多くの犠牲者が出るかも知れません。私は、姿が変貌し、苦しみもかく家族や友人を見たくはありません。だからこそ、原爆の怖さを、原爆先生のように、後世に伝えていかなければならないと思いました。

6年3組 (松山 優美)



原爆先生の特別授業を受講して

原爆先生の特別授業を受講してほくは、戦争のおそろしさが分かりました。1つ目に分かったおそろしさは、やけどけた人が手をゆうれいのようにやるしくさです。その話を聞いたほくは背筋がゾゾとしました。ほくだったらきょうふで心に腸がひきます。2つ目は、温度です。太陽の温度は 6000° だというけどリトルボイの温度は 10000° から 7000° くらいです。太陽よりあついと知ったとき、ほくは人間はとってもおそろしい生き物なんだと実感した。ほくは戦争のおそろしさを前よりよく知ったのでもうぜったいに戦争はやてはいけないものだと思います。今回は、原爆のことをくわしく、ていねいに教えてくださり、ありがとうございました。またいつか教えてください。

6年 3組 (横田正也)



原爆先生の特別授業を受講して

寒い内 関西小学に授業をしに来てくれてありがとう
ございました。

原爆のおそろしさ、そして戦争をや、てはいい
ないと言う事を身にしみて感じました。

本当なら、ぼく達に伝えるのも辛いはずなの
に、伝えていただき本当にありがとうございました。

今、北朝鮮が原爆で世界をおどしていま
す。太平洋戦争終決のき、かけとな。大原爆
と言う非しい歴史を北朝鮮は忘れてしま
たのでしょうか。忘れてはいいはずで
す。

今回の授業でこのような事を考えられる
ようになりました。

この授業で学んだ事を活かし原爆を使
て世界をおどす北朝鮮に反対していき
たいです。

六年三組 (窪田庸雅)



原爆先生の特別授業を受講して^{じゅこう}

原爆先生の特別授業をしていただき、
ありがとうございました。私は、この授業でいろいろ
なことについて学べたと思います。特に心に残った
のは、原爆ドームの本当の名前や、助かった人がどういうふう
に助かったのかを知ったことです。原爆ドームの名前は、
広島県業奨励館というのを初めて知りました。また、電話局
の中のトイレの中にいた人が助かったが、その後、たつまさの
ようなほのうにつつまれてなくなってしまうのを聞いて、
原爆というものは、ものすごくこわいものかと思いました。
そして私はこの授業で昔と今は全然ちがう、今のくらしは
平和だと感じました。本当にありがとうございました。

6年3組(渡邊玲菜)



原爆先生の特別授業を受講して

12月6日水曜日に原爆のことを教えてくださり、ありがとうございました。

12月6日に授業する前に原爆のことを社会で勉強しているときはあまり原爆のことは、分かりませんでした。が、原爆先生のおかげで分かるようになりました。特にすごいと思ったことは、広島に投下された原爆「リトルボーイ」です。すごいと思ったことは、約4tで3.12mということです。最初は広島に投下された原爆は4tもあると思っててもいなかったのでそれを聞いてとてもびっくりしました。だからこの授業を受けてからは、原爆先生が教えてくれたことを忘れないでいきたいと思います。

本当に原爆のことを教えてくださり、ありがとうございました。

6年3組(原口 琴梨)



原爆先生の特別授業を受講して^{じゅこう}

ぼくはこの授業を通して戦争の恐ろしさ
と原爆の恐ろしさを知りました。

まず話です。お父様を思い、つらい
思いもあると思いますが、ぼくたちのため
に話してくれてありがとうございます。あ
のお話を聞いて池田さんが原爆の被害を
あわれた方を助けてあげたいという思い
がよく伝わりました。真夏の暑い中想像し
ただけでも大変な作業をした使命感に
心打たれました。

説明で特におどろいたのはゴルフボール
10(kg)が広島市全体を破壊したなんて
すごく恐ろしいと思いました。

今日はぼくたちのために授業をして
くださってありがとうございます。ぼくは
このようなことがもう二度とおこら
ないでほしいと思いました。

6年3組 川口 慧祐)



原爆先生の特別授業を受講して

今回は、関町小学校に来て特別授業をして下さりありがとうございました。今回、広島に投下された原子爆弾の詳細な内容と、原子爆弾が投下されたときの広島の様子、人々の思いなど、たくさんを知ることができました。その中で印象に残ったのは、池田義三さんが軍隊のころの話しです。義三さんが軍隊のころ、トラックの荷台に乗ろうとした人々を少しでも助けようとして、つかむが皮ふがはがれてしまい、助けられないという話は聞いていただけでも、義三さんのつらさが伝わってきて、ほくもつらい気持ちになりました。それでも義三さんは、そのつらさを乗り越えて生活しているのです。すごいと思いました。ほくも、義三さんみたいにどんなつらいことがあっても、それを乗り越えて生活していこうと思いました。

今回は、本当にありがとうございました。

6年3組(井之川直哉)



原爆先生の特別授業を受講して

今回は来て頂きありがとうございました。先生の授業を受ける前にぼくは祖父や祖母に当時のことをインタビューさせてもらいました。祖母の父は空しゅうに合ったことがあり先生のお父さんと同じような光景を見たそうです。また、祖父の父の弟は戦争に行ったらしく、そこで亡くなってしまいました。そのため、親せきで沖縄の旅行に行ったときは「ひめゆりの塔にぜひとも行きたい」と祖父が言っていました。祖父は自分の親せきが戦争で苦しめられていることから、いかに戦争が危険であるかをぼく達孫に伝えたかったのだと思います。先生も同じだと思います。自分の父が原爆で苦しい思いをしたからこそ、これを後世に伝えたいと考えていることだと思います。この期待に裏切らないように原爆の恐ろしさを後世に伝えていきます。先生はこのお話を胸がはりさける思いで読んでいたのに、原爆の恐ろしさを伝えていただきありがとうございました。

6年3組(寺山春哉)



原爆先生の特別授業を受講して^{じゅこう}

私は、今回の学習で、原子爆弾によって大きなけがを負った人などを見て、大変悲しく、おそろいと思いい、もう二度とこのようなことが起きないでほしいと思いいました。

そして、現在こうして生きてる私達はすごく恵まれているのだとじから思いいました。なので、あれがいや、これがいさと言わないうようにしたり、食べ残しをしないようにしたり、小さなことからしっかりと見直していうと思いいました。

また、このようなことが起きないために、私も次の世代に伝えていうと思いいます。時には原爆ドームを見て、きせいになった人の痛みや苦しみを感いいることも大切なのかもしれません。本日は、まことにありがとうございます。

6年 3組 (大谷築代)



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

12/22

今回の授業を通して私はあまり実感が無かった原子爆弾のおそろしさや、広島のおそろしさをくわしく知る事ができました。広島のおそろした熱線と衝撃波、放射能の被害は自分の想像をはるかに上回るものでした。人間の皮ふがただれ右横左横しながらはい回るところを思い浮かべるだけで鳥肌がたまりました。みんな人間ではないよ、みんなを自分たちのトラップに棄せてあげようとし、相手が苦しむというのは原爆先生のお父さんもさん苦しめたことでしょう。爆震と地への道のりは本当に苦しめたでしょう。私たちが、みんなをたちを目かけようともせず見殺しにしたいでしょう。広島のおそろしへ行て作業するとも放棄し、逃げ出していました。

みんなを被害を出した原子爆弾リトルボーイでも、このような原子爆弾を保有している国はまだ多くあります。原爆ドームのように世界へ原子爆弾の危険性を示す事が大切です。私は原子爆弾の苦しみを体験してはいませんがこの授業をきっかけに後世の人に伝えていきたいと思ひます。忙しい中ありがとうございました。

6年 3組 (池田弓矢)



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

12/6

今回は、わざわざ関町小に来て90分もの間、細かく話をしてくさり、ありがとうございました。私が生まれていないところか、祖母も生まれていない時代の悲劇なので、今まで「何となく広島で何かあったというのは知っている」というのが、今回のお話を聞いて、色々な事実を知りました。原爆が投下された中心地の人々の様子には「手から皮がむけ落ちた、顔の半分が焼けていた」など、あまりにも現実味のある表現が多く、途中具合が悪くなりかけてしまいましたが、どうしても最後まで聞いていたかたので、静かに最後まで聞くことかできました。思いつけない原爆の投下に亡くなった人達。またまた、人生でやりたいことがあったでしょう。その矢先、突然、理不尽に命を絶たれた。その無念を思うと、苦しい気持ちになります。それと同時に、こうも思います。私は水泳も上手くないですし、特に原爆張っていることもありません。しかし、「生きている」それだけがとても素晴らしいことなのだと、改めて、生きることの大切さを教えて下さり、ありがとうございました。私は今回のお話を絶対に忘れません。

6年3組(井上里夏)



原爆先生の特別授業を受講して^{じゅこう}

今回はおもしろい中来ていただきありがとうございます。
がどうもありがとうございました。

池田さんが、見ぶり手ぶりでじょうきょうを教
えてくださりとても分かりやすかったです。

また、ぼくが一番心にのまっているのは
お父さんの話をしているときの被爆者の
言葉です。

ほかにも、原子爆弾が落ちたあとにどう
なるかなどとても勉強になりました。

そして、池田さんが、いろいろな人にお
父さんの話をしていることはとてもつら
いことなんだと思いました。

ぼくは、今回学んだことをほかの人に仁
えていきたいです。

広島に落ちた原子爆弾の名前など
くわしい情報などを教えてくださり
よく分かりました。

6年 3組 (高橋 慶次)



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこウ

今日、学んだことは 次の世代へ伝えていかなければなりません。原爆の悲惨さは、写真では分からないことがあります。それは、罪の無い人々の気持ちです。そして、肉がただたれても 助けを呼ぶ。

まだ生まれたばかりの子どももいるのにある一瞬の事で多くの人が亡くなってしまう。

今日、原子爆弾の火薬材料が、ウランというものと初めて知りました。今日の授業の中で「ウランが全て爆発したらどうなるか」という話について、ほくは地球の半分がなくなってしまうのではないかと思いました。アメリカが日本に原子爆弾を投下していなかったら、まだ戦争は終わっていないかもしれないもしくは、日本がほろびてしまっていたかもしれない。アメリカは、戦争を止めるために投下したのかもしれない。しかし、こんな罪の無い人々を殺すのは、いくらなんでもひどすぎると思った。

原子爆弾は、悲惨だ。もう投下してはならない。それにより原爆ドームが被爆者たちの慰霊碑が伝えている。

6年3組 (石田 峻馬)



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

本日、特別授業をしていただき、ありがとうございます。

私が、今回の特別授業を受けて、特に心に残ったのは、
原子火暴団が落とされた時の映像です。

落とされた瞬間、真、白になってみんな目をおおっていました。

また、その空に上がっていく雲が、あ、というまにきのこ型になって、
町全体をおおいこみ、地上では、爆風が町全体をおお、て
いたのを見ました。

これを見て、なんがおそろしいのだろうと、きょうふ、でい、は、い、に
なりました。

それと同時に、今のこの時代に生まれた自分が、どんなに
幸せか、己改めてありがたみを感じました。

そして、原爆にあつた広島に行つて、広島業奨励館を
実際に見てみたいと思いました。

今回の特別授業は、とても良い経験になったと思ひ。

そして原爆のことは、わすれてはならない、とても大切で
おそろしいことだと思ふので、もし、大人になって、

たれかに話せるような機械ができれば、次の世代に
伝えていきたいです。

6年3組(毛利まよの)



原爆先生の特別授業を受講して^{じゅこう}

原爆先生へ

ぼくたちのために特別授業をして
くれてありがとうございます。ぼくが話を
聞いておどろいたのは広島原爆
で広島県が焼きつくされて人も燃え
てしまうところである人がとけていって兵
隊に助けを求めてきて助けられなく
て落ちてしまい死んでしまうこのと
きかっぼくは悲しくてこわくても
と長い時間見るのはやだなあと思っ
ましたが、聞いているとたんたんもつと矢口
たりと興味かわいてきました。ぼく
は命の大切さを矢口昔の人々はたい
へんだったと分かりました。
今日は本当にありがとうございました。

6年3組(井口想太)



原爆先生の特別授業を受講して

僕は、原爆先生の特別授業を受講して、原爆がどれほど危険な物なのか、戦争がどれほど残酷な物なのかを改めて知りました。又、このようなことは、二度と起きてはいけないと思いました。

原爆先生のお父さんの池田義三さんの体験談では、上ほど戦争が恐しいものだと、いうことを強く感じました。人々が人間とは思えない姿で、手々どのひうがスルスルとはがれていくことを想像しただけで、恐怖を感じさせるものでした。

僕は、罪もない人を一瞬間で消し去ってしまう凶悪なものが1万5000発あるのを聞いて、かや、原爆の恐ろしさを世界に伝えて、原爆がかくがどれほど危険な物かを知って、原爆がこの世界から消えて、いてほしいと思いました。又、僕は、この授業で、生きて、いる大切さを改めて強く感じました。

6年3組(渡邊一誓)



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

原爆先生へ

私たちに原爆のことを教えてくれた(おん)さん(おん)さん、ありがとうございます。
それに、原爆先生のお父さんの戦争の体験者で、今でもわすれられたいこと
でも残酷なことで思い出したほうが良かったと思います。なのに、
この授業のために、聞いて話してくれました。本当にありがとうございました。
私は、この授業のときに、とても泣きそうになりました。でも、泣きそうにな
るのをこらえて原爆先生の話を聞いていました。周りの人を見ると、私
のほかにも、泣きそうでおみたまをこらえている人がいました。戦争(原
爆)の話を聞いて、残酷、ほとんどの人がそのように思うと思います。で
も、私は、泣きそうでおみたまをこらえている人、泣いている人は、ほかの人よ
りも思いが強くたのではないかと思います。原爆先生の話を聞いて
いると、原爆先生が途中で、マイクをむかい、とても大きな声で「おん、
と言っていました。私は、このとき、おどろいてしまいました。もちろん、私た
けでなく、周りの人たちも、とてもおどろいていました。マイクを使って、言った
でも、こんなにおどろくのは、本当に、実際の音を聞いたら、マイクの音の何
倍もうるさいなと思いました。この授業で、原爆のことについて多く
さん知ることができ、その時代の人の辛さがよく分かりました。本当に、あ
りがありがとうございました。

6年3組(渡部 悠)



原爆先生の特別授業を受講して^{じゅこう}

お忙しい中、関町小学校にお越しくださり、ありがとうございます。90分間の授業は、長いようで短かったです。

広島で原爆で多くの方が苦しんだことが私は、頭からはなれません。義三さんは、17才という若さで軍隊に入ったことがとてもすごく、おどろきました。私のひいおはあちゃんも、17才で小学校の先生になっているので当時は、そういう大変だったということが頭にうかびます。

先生が、いっていた、候補になった都市でも、もしすべて天候が悪かったら、原爆はおとされていなかたのに、本当に残念です。

そして、原子爆弾の温度は7000℃という熱さにとってもおどろきました。7000℃という熱さは、太陽の表面温度よりも熱いと聞き、私は、おもわず口に手をおさえてしまいました。この、もうけつな熱さで亡くなった方々は、本当に苦しかったと思いが、映像で見せていただいたのでは、一瞬で消えてしまう方をみて、背筋がこおりました。本当におそろしかったです。

私は母に、今回の授業を話しました。母も広島に住んでいたので、原爆のことを話してくれました。お忙しい中、本当にありがとうございます。

6年 3組 (鈴木 梨奈)



原爆先生の特別授業を受講して

私は、原火暴先生の特別授業を通して改めて原火暴のこわさを知ることができました。たとえば、原火暴が火暴発されたとき訓練の姿勢を自然にできていたということを知ってひごろからの訓練は、大の胆なと感じたので、学校であるひなん訓練にしっかり取り組んで、なにかあったときに命を守りたいとお話を聞いているとき、どうして、14万人という大切な人々をうばったのか、どうして、そんなこわいことがおこるのか不思議でした。一生けんめい生きていた人、且かけてほしいと願っても、且かけたくても、ひんがはがれてしまう。考えると泣みだかのでてきました。人がきえて見え、水がぼう発してほうという熱さにおどろきました。見さしていただいた動画を思い出すと、泣けてきます。また戦争なども続いている国もありますが、広島であったことなどは、もう起きてほしくないです。2時間という長い時間お話しくださってありがとうございました。

6年 3組 (玉置 理愛)



原爆先生の特別授業を受講して

今回、原火暴について授業をしていただきありがとうございます。ぼくは、原火暴の事知らなかつたけど授業を通して知り、いろんかまことを学びました。印象に残ったことは、原火暴が投下した時の威力についてです。熱線、衝撃波、放射線などの被害が一つ一つ大きく原火暴のおそろしさが分かりました。ほかにも、原火暴の温度についてです。爆心直下は3~4000℃あり、原火暴の中心は100万℃もあり、当たったらひとたまりもないと思いました。ぼくは、今回の授業を通して原火暴のことが分かりました。そのようなことが二度と起きないでほしいです。平和な世界が糸売くため、戦争おなくしたいです。そのために、原火暴のことは忘れずにしてほしいです。

6年 3組 (田山 大輝)



原爆先生の特別授業を受講して

僕、原爆先生の特別授業を受けて
最初に思ったことは、皮膚がは
がれ、火焼けたたれたというのを聞いた時
歹醜な話だなと身に染みて分かりま
した。決に思ったことはミサイルの

話が出てきて、今で言う北朝鮮
の事と同じだなと思い、もし北朝鮮
のミサイルが落ちてきていたら
と思うと体がバツとします。

今こうしてミサイルが落ちてこな
いのは平和だということの

象徴です。だから原爆先生の
授業を受けていない人も
戦争時代に生まれてこなかったと
に幸せを感じてほしいです。

そしてぼくも毎日が楽しい、嬉しい
と思えるようにしたいと思
いました。

6年3組(佐藤史悠)